

伊豆大島

発行 アンコ文化保存会
代表 立島夕規乃
Tel04992 - 2 - 7317
清水 Tel2 - 1111

アンコ文化保存会便り

「アンコさん」ご存知ですか？

「アンコ」とは伊豆大島で年上の女性に対して親しみを込めて呼ぶ時の「姉っこ」が変化したものと言われています（姉っこ→姉こ→アンコ）。
現在では、お姉さんというよりもアンコ衣裳を着た女性の通称となっています。
筒袖・紺がすりの着物にてぬぐいを被り、帯は付けずに幅広の黒縞子（くろしゅす）で縁どりした前だれを締めたアンコ姿は大島のシンボルとなっています。
昔はソーメン絞りといわれた濃紺の縮み風の手拭を被り、「如何なる貴人の前でも被り手拭いはとらず」とされた礼装でした。
現在ではソーメン絞りの手拭いは僅かに残っているだけで貴重なものとなっています。
戦前から戦後へ時代の移り変わりと共に「アンコ」の装いも変化してきました。
このアンコ文化・風俗を守り、後世に繋げていきたいとの思いで私たちは活動を行っています。



上：昭和10年 下：昭和30年

椿油屋の一人娘で東京の女学校を卒業し、親孝行で愛嬌良し土産物店の看板娘となりました。美人アンコで有名で雑誌にも取り上げられ、おしゅんちゃんの顔を見るのに行列ができたとか。素朴な島娘たちは昭和初期の大島観光に大きく貢献しました。



昔は水汲み・薪運びは女性の大切な仕事でした。



宴席で大島節を歌う女性達

